

# 西島宗二郎先生胸像建立趣意書 —昭和43年10月1日

znakao





## 西島宗二郎先生銅像

### 建立期成会趣意書

一、琉球音楽には高い芸術性があることであります。このことは琉球音楽が人々に深い喜びを与えることで明らかであります。

二、沖縄県民の社会的地位が向上したことでありませう。明治、大正時代には県民の地位は一段と低いものにみられていたが当時はハワイ、アメリカや日本本土では勿論、沖縄でさえ他県民の前では遠慮勝ちに歌ったものであります。ところが現在では世界中どこ

我が沖縄で生れた琉球古典音楽も今や日本本土はもとより日附変更線を越えてハワイやアメリカに渡り、更に赤道をこえて南米諸国にまで拡っていることは喜ばしいことであります。しかし、それにはそれだけの理由があるからで、その主なる理由をあげると次の通りであります。



でもクラブを作つて多くの人々がこれを愛好しているのであります。これは県民の社会的地位が向上したからでありませう。

三、伊差川、伊礼両先生の声楽譜附工工四が作られたことでありませう。このお蔭で外国や本土で習つた人々が本場の沖縄で習つた人々とピツタリとあふようになつたのであります。

以上の三点は、琉球音楽が世界的に拡つた大きな原因であります。西島宗二郎先生の御努力がなかつたら今日の隆盛はなかつたでありませう。吾々は西島先生こそ野村流古典音楽普及の第一の功労者だと信ずるが故に、その銅像を建立して、その功績を長く後世に伝

えたいと思ふものであります。

しかもそのことにも先き立つものは、お金子でありまして相当の御金がなくしては実現は不可能であります。吾々発起人はもとより応分のお金は出しますのでありますが吾々の力だけではとうてい実現できそうでないので本期成会を作り広く同好の方々に訴えて御協力を願ひ一九六九年の末までには完成したい所存であります。その為に貴殿の御協力を得たく次頁西島宗二郎先生顕彰趣意書を相添え御願ひ申し上げます。

一九六八年十月一日

発起人

委員長 高 安 高 秋

副委員長

〃

〃

事務局長

書記

會計

事務局員

運営委員

〃

〃

〃

〃

〃

琉球文化守礼会長  
琉球民謡協会長

川田松夫

山里

長嶺

内田

長田

山入端

太田

比嘉

島嘉

湧川

山城

小浜

伊佐

上原

將達

義権

正成

光松

幸正

照晃

誠吉

松三郎

要三郎

栄信

真仁

良善

中部連合支部

阿嘉

漢那

照屋

比嘉

玉城

玉城

三郎

宗松

林山

正助

武次郎

宗吉

西島宗二郎先生胸像建立趣意書－昭和43年10月1日

<http://p.booklog.jp/book/97853>

著者 :野村流音楽協会

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/znakao/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/97853>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/97853>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ